

あまがさき環境オープンカレッジ活動報告

あるもんで交歓会

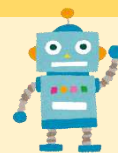
1月25日(土) 13:30~15:00
塚口さんさんタウンコミュニティホール
参加者 171名 スタッフ 14名

たくさんの方が参加してくれました。
参加者からは、「いつもスタッフの皆さんの明るい声に元気をもらえます」「また次回も楽しみにしています」や、「人が多すぎてゆっくり見れない」との感想や意見がありました。



おもちゃ病院 塚口診療所

2月1日(土) 13:00~15:00
塚口さんさんタウンコミュニティホール
参加者 30組 67名 スタッフ 10名



41個のおもちゃが持ち込まれました。
あまがさきおもちゃ病院のドクターの丁寧な受付や、おもちゃ1つずつ丁寧に修理してくださることに感謝です。
参加者からは、「親身になって対応して下さりありがとうございました」との感想がありました。



あまがさき環境オープンカレッジでは、もちこみ企画(連携活動)として、「環境」をテーマとした講座などを実施していただくことで、最大5万円までの補助を受けることができます。

補助対象経費	講師謝金(外部講師への謝金に限る)、会場使用料、印刷費などが対象
応募方法	経費補助を受ける際には、連携活動の内容について提案書を提出する必要あり
提出期間	随時(ただし活動実施日の2ヶ月前まで) ※市報掲載を希望する場合は実施日の3ヶ月前まで
審査	提出された提案書の内容に基づき書類審査を行い、補助金の交付を決定
広報について	連携活動に採用された場合には、市報(紙面の関係上掲載ができない場合もあり)、あまがさき環境オープンカレッジが毎月発行している環境情報誌及びホームページなどにおいて広報します。



※詳しくは、あまがさき環境オープンカレッジホームページへ!! <https://www.aoce.info/aoce/連携活動申請/>



同じ尼崎育ちだからね 小森利絵

同じ尼崎育ちだからね

国際文通中の相手との共通の話題が「おともだちの木」。どうして、あの木とおともだちになったのか。そのことを書くにあたり、よく通る散歩道ではなく、あえて国道43号線沿いに並び木を選んだのには理由があったことを思い出しました。私にとって国道43号線はさまざまに思いが巡る場所で、この道路沿いで力強く生きる木と交流したからです。

同じ尼崎育ちの、あの木と私。私が通った小学校前には国道43号線が走っていて、窓を開けるとそばに見えました。保育所か幼稚園前に設置された光化学スモッグ関連の表示盤を見た記憶がうっすらとありますし、近所には公害訴訟に関わった方々が暮らしていました。小・中学生の時には環境問題を題材とした小説や童話を書いていたことも思い出します。

「環境モデル都市あまがさき」と言われる現在に至るまでの空気感を、私もほんの少しですが、感じながら生きてきたのです。あの木と交流する中で、そんな思いや日々も共有しているのかもしれない。そんなことを英訳したお手紙を郵便ポストに投函しました。



お手紙×季節のこぼれ「おぼがみじか」
https://www.kansai-woman.net/Column_b20128.html

あまがさきエコ通信 (毎月1日発行)

編集発行 あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会・尼崎市
問合せ NPO法人あまがさき環境オープンカレッジ
TEL/FAX 06-6421-0544 メール aoce@gb4.so-net.ne.jp
〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町2丁目1番 2-402号
(阪急塚口駅から徒歩5分)

開館時間 10:00~17:00 【休館日 水曜・木曜・祝日・年末年始】

※[あまがさきエコ通信]メール配信をご希望の方は、「あまがさきエコ通信メール配信希望」とお名前を明記のうえ上記アドレスにメールしてください。



ホームページ



あまがさきエコ通信発行にかかる費用の一部は、尼崎市の公費を活用しています